

NEWS(PRESS) RELEASE

令和 5 年 6 月 2 9 日

政策推進部総合政策課

タ イ ト ル		志摩市集落支援員（間崎島担当）を委嘱します									
概 要	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	この度、高齢者の見守り活動や、人口減少と高齢化の進む離島地域の生活維持や地域活性化を図ることを目的に、志摩市初となる集落支援員を間崎島に配置します。 （委嘱（予定）日：令和5年7月1日） なお、集落支援員には間崎自治会副会長 下川元三氏への委嘱を予定しており、間崎島内を活動エリアとし、地域の巡回による生活状況等の把握や市との連携による地域の課題の把握、整理及び解決、間崎島の活性化に関連した業務に従事頂きます。 【下川 元三（しもかわ げんぞう）氏】 東京都生まれ 48歳 学歴：愛媛大学大学院農学研究科（専攻：森林計画学） 職歴：環境省（平成15年～平成21年） 平成18年～20年の間には環境省伊勢志摩国立公園管理事務所に配属となり、伊勢志摩国立公園計画策定に係る各種調整等に従事。 平成21年に同省退官後、平成29年に間崎島に移住。令和2年に間崎自治会副会長に就任（～現在）。 【集落支援員とは】 地方自治体が、地域の実情に詳しい人材で、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材を「集落支援員」として委嘱する総務省の制度。市から委嘱された支援員は集落への「目配り」として、集落の状況把握、集落点検、住民同士や住民と行政間での話し合いの促進、地域活性化等を実施する。 《令和3年度実績》 専任の「集落支援員」の設置数：1,915人（三重県内131人） 自治会長などとの兼務の集落支援員の設置数：3,424人（三重県内131人） 【間崎島の状況】 <table><tr><td>面積</td><td>人口</td><td>うち65歳以上</td><td>高齢化率</td></tr><tr><td>0.36 km²</td><td>54人</td><td>44人</td><td>81.5%</td></tr></table> ※人口および高齢化率は令和5年3月末時点の住民基本台帳情報 明治時代に英虞湾において真円真珠養殖が成功すると、間崎島でも真珠養殖が始まり、「宝石の島」と呼ばれるほど繁栄した。昭和30年代～40年代には島の人口が600人を超え、現在も真珠産業で繁栄した当時の好況を偲ばせる立派な住宅が立ち並び。しかし、英虞湾での真珠養殖の衰退とともに、人口減少、高齢化が急速に進み、令和5年3月末時点での島の高齢化率は80%を超え、自治会活動をはじめとする地域活動等の維持が困難な状況となっている。		面積	人口	うち65歳以上	高齢化率	0.36 km ²	54人	44人	81.5%
		面積	人口	うち65歳以上	高齢化率						
		0.36 km ²	54人	44人	81.5%						
		お 問 合 せ 先		志摩市 政策推進部 総合政策課 担当 上野・森本 TEL 0599-44-0205 FAX 0599-44-5252							